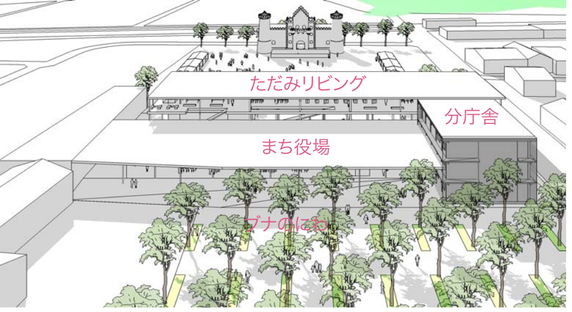
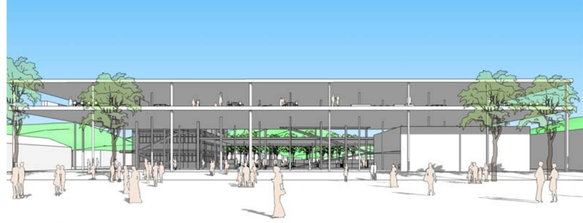
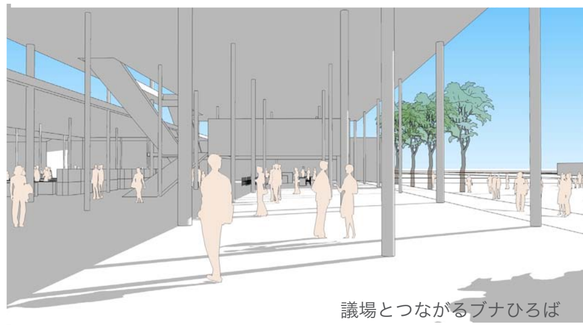




雪まつりひろばとつながる庁舎

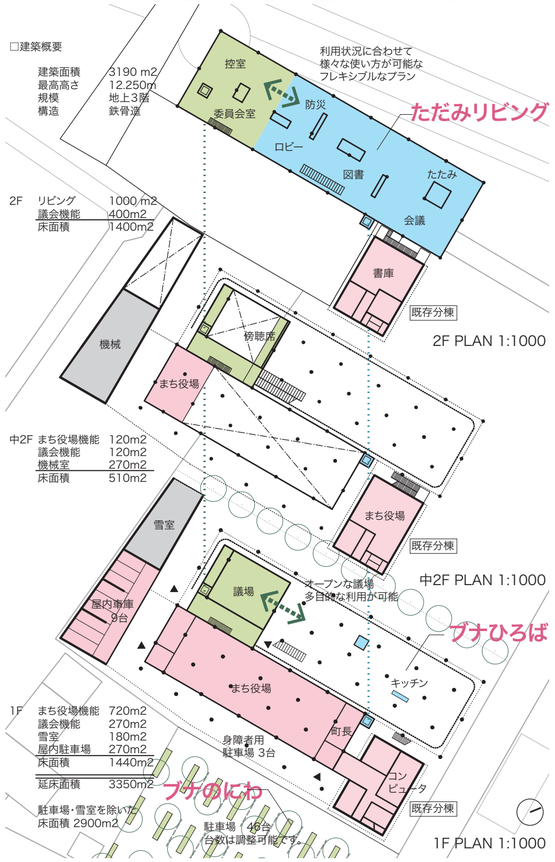


議場とつながるブナひろば

ただみリビングから要害山を見る

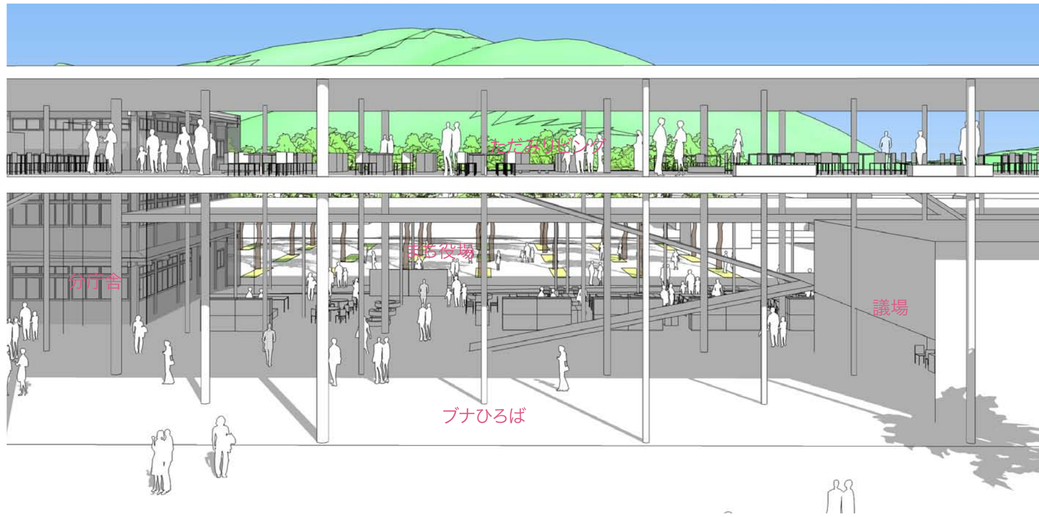
□建築概要

建築面積	3190 m2	
最高高さ	12.250m	
規模	地上3階	
構造	鉄骨造	
2F リビング	1000 m2	
議会機能	400m2	
床面積	1400m2	
中2F まち役場機能	120m2	
議会機能	120m2	
機械室	270m2	
床面積	510m2	
1F まち役場機能	720m2	
議会機能	270m2	
雪室	180m2	
屋内駐車場	270m2	
床面積	1440m2	
延床面積	3350m2	
駐車場・雪室を除いた床面積	2900m2	



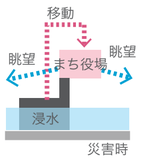
ブナのにわと連結するまち役場

ブナのにわから雪まつりひろば方向を見る



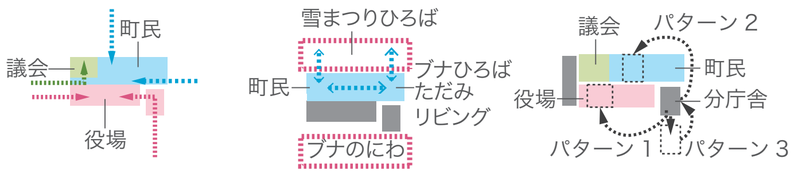
まち役場とつながるブナひろばとただみリビング

拠点としての庁舎



災害時には、ただみリビングに災害対策本部を設置し、ブナひろばを炊き出しスペース・復興バザール会場などに利用します。また、アクシデントで１階のまち役場スペースや分庁舎が使えなくなった場合は、２ 階のただみリビングに役場機能を移動します。ほぼ同じフットプリントを持ったワンルームの空間を２つ持つことで、様々な運営の可能性が生み出せます。

変化に対応するフレキシブルな庁舎



明快なゾーニング

まち役場と分庁舎が並び、町民のためのブナひろば・ただみリビングや議会ゾーンとアプローチ・サービス動線が交差しない計画です。

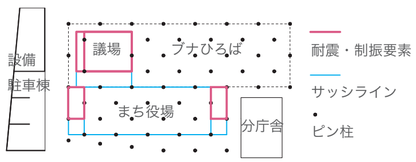
町役場休館日

ブナひろばとただみリビングを開放し、観光・町民活動を支援します。ブナのにわ（駐車スペース）からの動線を確保することも可能です。

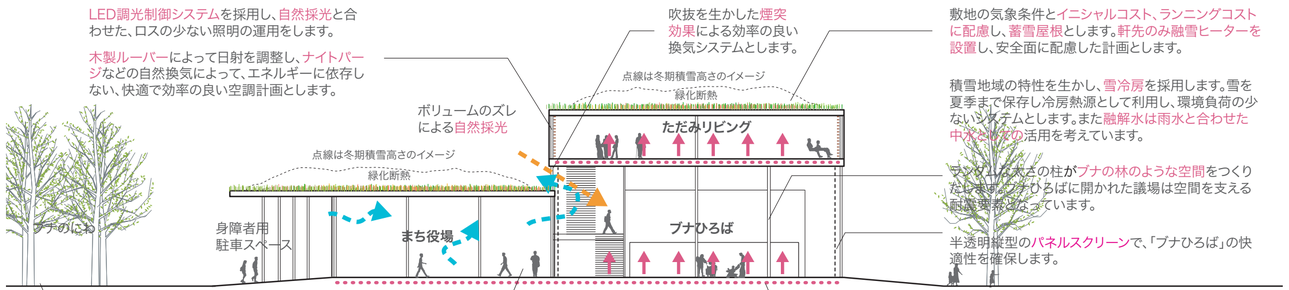
庁舎機能再編時

分庁舎建て替え時には、町役場の増床で対応するパターン、ただみリビングの一部を利用するパターン、ブナの庭に仮設を建て、同位地に増築を行うパターンなど、いくつかの選択肢が考えられます。

繊細で効率の良い構造計画



地盤が良好なため、免震ではなく対費用効果の高い制振構造による防災上堅牢なシステムを検討します。まち役場は既存別棟と屋内駐車場棟側に耐震要素を固め、ブナひろばは議場の周りに耐震要素を固め、細い柱によって垂直荷重を受ける繊細で効率の良い構造となっています。構造部材が温かみのある仕上げも兼ねるように木造の耐震要素を検討しています。



断面図 1:300